



令和 7 年 7 月 16 日
午前 午後 11 時 51 分 受領

議長	事務局長	係
		

No. 1

令和 7 年 7 月 16 日

あいなん未来議会議長 吉田 茂生 殿

2 班 あいなん未来議会議員 赤崎 未玖

あいなん未来議会議員 杉本 結奈

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 日常の安全確保と災害時の避難経路確保のための街灯等の整備について 本町における街灯不足の問題は、日常の安全確保と災害時の避難経路確保の両面で重要な課題です。問題解決には、行政主導だけでなく、地域住民との協働による総合的な対策が必要です。 本町の避難計画には、次の2つの問題があると考えます。1点目は、避難場所へ誘導する看板の不足です。避難場所に到達するまで、看板等の整備が不十分で迷いやすいこと。2点目は、避難場所の居住性の問題です。避難場所で一定期間の滞在が困難で、災害時に十分機能しないという問題があります。 本町では、平常時と災害時の両方で機能するソーラー型避難路灯の整備や、御荘平城の一部地域における避難経路の方向・距離を示す誘導看板の設置は進められている一方で、町内全体の計画策定には至っていない状況です。 一部地域のみでなく、誰が、いつ、どこで被災しても助かる町にするために、避難経路の明確化と、避難場所の機能強化の両面からのアプローチを行い、現在の避難計画をより実効性のあるものにする必要があります。	町長

そのためには、地域住民の参加を促しながら、段階的に改善を進めることで、災害時に真に役立つ避難システムを構築することが喫緊の課題と考えます。

(1) 街灯を増設することは可能でしょうか。

(2) 設置場所の優先順位計画を策定してはどうでしょうか。(避難経路や避難場所の近くを優先して設置するなど)

(3) 避難誘導看板設置の効果検証を行い、設置の優先順位の見直しは可能でしょうか。

(4) 防災地理部など、高校生も看板や避難誘導看板などの作成・計画に携わることは可能でしょうか。